

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 栃本天海堂新倉庫新築工事	階数	2
建設地	福知山市三和町みわ小字エコートビ	構造	S造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	7人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2021年2月20日
敷地面積	42,313㎡	作成者	谷直人
建築面積	5,744㎡	確認日	2021年2月26日
延床面積	5,890㎡	確認者	谷直人



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	使用材料を減らすことにより、環境的・経済的コストを減らすようにした。	その他 無し
Q1 室内環境	化学汚染物質の使用を極力避けた。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に配慮した外観とした。
LR1 エネルギー	熱負荷の抑制に配慮した。	LR3 敷地外環境 大気汚染の防止に配慮した。
Q2 サービス性能	対応性、更新性に配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	可能な限り、リサイクル材料を利用することに配慮した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される